

■ 畠山政長 武将，管領。山名宗全との抗争から<応仁の乱>起こし，足利義政没後専権握るも，諸将に憎まれ自刃に。
はたけやままさなが
・・・・・・ 1442 = 異母兄持国の養子になっていた畠山持富の子に，持国に実子義就が生まれてまもなく，生まれる。

・・・・・・ 1448 = 6歳：この年， 持国が義就に家督を相続させようとして，畠山家が分裂，
以後，畠山氏は二流に分れて抗争することになり，
大和土一揆・1451 = 9歳：

享徳の乱始・1454 = 12歳： 兄弥三郎とともに持国に追われて細川勝元・山名宗全の援けで持国父子を追ひ，
古河公方始・1455 = 13歳： 持国が死去。将軍足利義政の命で一時的に和睦するものの，

寛正大飢饉始1459 = 17歳： 兄弥三郎が死去したため，
・・・・・・ 1460 = 18歳： 義就が罪ありと義政から追われるのに乗じて，義就を追ひ，畠山家の家督を相続。

高野山から吉野の奥北山へと追い込んで，

・・・・・・ 1464 = 22歳： 凱旋し，管領に就任したが，

・・・・・・ 1466 = 24歳： 義就が山名宗全に迎えられて入京すると，罷免され，再び両者の抗争は激化し，
応仁の乱始・1467 = 25歳： 挙兵して応仁の乱となる。

・・・・・・ 1469 = 27歳： 以後，泥沼の戦いを続けながら，

足利義政隠居1473 = 31歳：再び，短期間管領に補せられ，

応仁の乱終・1477 = 35歳：また，短期間管領に補せられたが，
・・・・・・ 1478 = 36歳：

1485 = 43歳：山城国一揆で両軍とも山城国から撤退，
太田道灌暗殺1486 = 44歳：再び，短期間管領に補せられる。
・・・・・・ 1487 = 45歳：将軍足利義尚に従って近江国に走り，

足利義政没・1490 = 48歳： 義就が死去すると，将軍足利義植に迎えられて入京，幕府の長老として専権をほしいままにしたため，諸将より憎まれ，

明応の政変・1493 = 51歳： 義就の子義豊が河内国蕃田城に挙兵すると，細川政元をはじめ山名・一色ら多くの諸将がこれに呼応し，河内国正覚寺城に拠って抗戦したが敗れ，子の尚順らを逃したあと自刃した。